

まちの話題

●身近な話題やあなたの声、元気っ子の写真待っています。
 広報こまつしま
 電話 32-3812



12/27

親子で年末の風物詩 しめ縄づくりを体験

日本の伝統的な文化を親子で一緒になって学び親子しめ縄づくりおうと12月27日、市立新開幼



一所懸命にしめ縄を作る親子ら

稚園（福田貴充園長）でウィンタースクール親子しめ縄づくり教室が開かれました。参加したのは、同園に通う園

児とその保護者20組。講師にはいつも園児らの安全を守っていただいているスクー

ルガードの椎葉さんを迎え、用意した稲わらをそれぞれ一握り

ほど手に取り、時計回りによりにかけながら一所懸命作りまし

た。しめ縄づくりを初めて体験する保護者も多く、スクールガ

ードの方の指導のもと、親子一緒になって日本の伝統文化を楽し

みながら体験しました。

12/26

善意の寄付

災害時のボランティア活動に取り組んでいる小松島市民連合会（庄

野輝秀代表）が12月26日、市役所を訪れ、市や徳島赤十字病院、ひ

のみね養護学校、ひのみね療育センターに車いすなど総額266万

4300円分の福祉用品を贈りました。

この寄贈品は、同連合会会員ら

から集められた寄付金で購入されたもの。

贈呈式で庄野代表から稲田市長や各施設の代表者らに目録が手渡

されました。庄野代表は「安心安全のまちづくりのため有効に使っ

てください」と話されていました。

12/29

町内の子どもたちが 防火・火の用心訴え夜回り

地域の防災・防火意識の啓発を行い、次世代を担う消防団員の確保と育成を図ろうと12月29日、中郷町の消防第7分団（森井裕志分団長）が、町内の幼稚園児や小学生らを対象に「子ども防火クラブ」を開き、年末の町内を火の用心を訴えかけながら巡回しました。

同日夜、同分団近くの広場に集合した分団員と子どもら約20名が出発。法被姿の子どもたちが拍子木をたたきながら「火の用心」と大きな声で約40分か



拍子木をたたきながら町内を巡回する子ども防火クラブのメンバー



福祉用品の贈呈目録を稲田市長に手渡す庄野代表

て町内を歩きました。活動終了後、広場に集合した子どもらに森井分団長から感謝状がひとり一人に手渡され、子どもたちに地域安全のための活動の大切さを話され、子どもらも地域安全に貢献できたことに充実感を感じていました。